

学校だより

8・9月号

つなしま



令和5年8月31日
横浜市立綱島小学校

【学校教育目標】 共に創り 共に歩み 共に輝く

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/tsunashima/>

前期後半がスタート

校長 金森孝子

記録的な猛暑の夏休みが終わり、前期後半がスタートしました。この夏休みは地域の多くの行事も数年振りに行われ、また心理的にも移動しやすくなったことから子どもたちもたくさんの体験をしたことと思います。行事には私も参加させていただき、改めて伝統の継承、地域興しのエネルギーと子どもたちへの願いを深く感じました。また、取り組んだ課題や作品には、大切な時間を過ごした子どもたちの頑張りや成長が表現されていました。この成果をクラスや学年で共有しながら、子どもたちの力をさらに学校生活の中で伸ばしていけるよう、教育活動を進めてまいります。

夏休み明け初日の朝会で、夏休みをテーマにした俳句を募集したところ、次々に作品が集まりました。私は自作の4つの句を示しながら、この夏に感じたことを伝えました。その上で、「おいしいな、すずしいな、うれしいな、、、」などの気持ちを表す言葉をできるだけ使わないこと、「夏休み」という言葉を入れて作っても大丈夫ということの説明しました。29日までに集まった作品の一部を紹介します。どの作品も子どもにとっての夏休みが詰まっていた思わず微笑んでしまう作品が多く、「俳句」のよさや可能性を再認識しました。今後、子どもたちがより「俳句」や言葉に興味をもてるような取組を考えていきます。

<p>はねた石 七かいいじょう 石なげて (二年)</p>	<p>せんぶうき 声をだして エイリアン (三年)</p>	<p>友達と せんこう花火 対決だ (四年)</p>	<p>子どもたち たのしき声は 海岸に (四年)</p>	<p>ころもがえ あの服この服 さようなら (四年)</p>	<p>きょうりゅうの かみつかれたあと いたそうだ (四年)</p>	<p>四年生は国語の学習 として、学年での取り 組みをしました。</p>
---	---	--	--	--	--	--

横浜子ども会議(港北区会議 8月30日)

横浜子ども会議がスタートし、すでに10年以上が経ちました。横浜市立学校全体で「自分と周りの人や社会との関係を見つめ、主体的な具体の取り組みを行う」この会議は、「いじめ」を身近な問題として理解し、「いじめ」は絶対に許されないという気持ちで考えを認め合うこと、そして誰もが安心して生活できる「子ども社会」を作ろうとすることを目指しています。今年度は、「つながる、広がる、いじめの未然防止の輪～いじめをなくすために、一人一人ができること～」をテーマに話し合いをしました。本校からは、運営委員会の6年生代表児童2名が参加しました。

港北区会議に先立ち、7月に、新田中学校ブロック(新田中、新田小、新吉田小、新吉田第二小、綱島小)で、話し合いを持ちました。そこでは、「いじめを防ぐためには、相手を知って思いやりをもつこと、いじめがなくなるように相談できる場所をつくること、寄り添ってくれる人を見つけることが大切。」などの意見が出されました。港北区会議では、それぞれのブロックで出た意見を発表し話し合うことで、自分たちの考えを深めました。今後、いじめ未然防止に向け、全校で会議について共有しながら、より具体的な取り組みを考えて実践していく予定です。



新田中学校でのブロック会議(7月18日)